

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第2週 （1月9日～1月15日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

高知県全域で引き続き注意報値である 10.0 を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第1週の10.21から第2週では14.25と引き続き増加しています。

県全域から報告があり、高知市、幡多、安芸で増加し、県全域と高知市、幡多、中央西、安芸では注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型が99.1%、B型0.9%となっています。

病原体検出情報では第2週に搬入された検体で、須崎からInfluenza virus A H3 NTが2件検出されています。

学校等における集団発生の報告は須崎保健所管内から学級閉鎖の報告が1件ありました。

全国でも定点医療機関当たりの報告数が第52週の8.54から第1週では10.58と注意報値を超え増加しているため、引き続き注意が必要です。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2016年第49～1週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く91.1%、次いでAH1pdm09が4.26%、B（ビクトリア系統）が3.1%、B型（山形系統）1.16%、B（系統不明）が0.39%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけ、症状がある方は、咳エチケットに心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も有効です。

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第2週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	0	0	0	0	0
学年閉鎖	第2週	0	0	0	0	0	0
	累計	0	1	1	0	0	0
学級閉鎖	第2週	0	0	0	0	1	0
	累計	0	0	2	0	1	0

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。 等

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第1週の0.00から第2週では0.07です。中央西と高知市で増加し、中央西では注意報値を超えています。

病原体検出情報では第2週に搬入された検体で、幡多(3ヶ月女)から *Bordetella pertussis* が1件検出されています。

百日咳は、百日咳菌による感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します。通常7～10日間程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、次第に咳が多くなり程度も激しくなる事と、痰が出る事が特徴です。その後、激しい咳は2～3週間かけて徐々に治まりますが、時折、発作性の咳がみられます。

百日咳は、感染力が強く、咳の開始から約3週間は菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第1週の4.47から第2週では7.23と増加しています。県全域から報告があり、高知市、幡多、中央東、中央西で増加しています。定点医療機関からのホット情報ではノロウイルス4例、ロタウイルス1例の報告があり、感染症情報収集システム※でも36例の報告があることから、注意が必要です。

ノロウイルスなどのウイルスを原因とする感染性胃腸炎は嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。

特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、マスクや使い捨ての手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。調理をする場合には、十分に加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第1週の0.83から第2週では1.50と増加しています。高知市、中央西、中央東で増加しています。定点医療機関からのホット情報で5例の報告があり、感染症情報収集システム※でも12例の報告があることから、注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第1週の0.63から第2週では0.75と横ばいですが、高知市で増加しています。定点医療機関からのホット情報では22例の報告があり、感染症情報収集システム※でも41例の報告があるなど引き続き報告数の多い状態であることから、注意が必要です。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが、つつが虫病はツツガムシというわずか0.3mmほどのダニの幼虫が媒介する感染症です。

すべての、マダニやツツガムシが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。予防するためのワクチン等はありません。

マダニやツツガムシは野外に生息しています。野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、ダニに咬まれないようにしましょう。

中央東保健所管内からつつが虫病1件の患者報告がありました。

昨年1月にはSFTSの患者報告もありました。冬場でも注意してください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

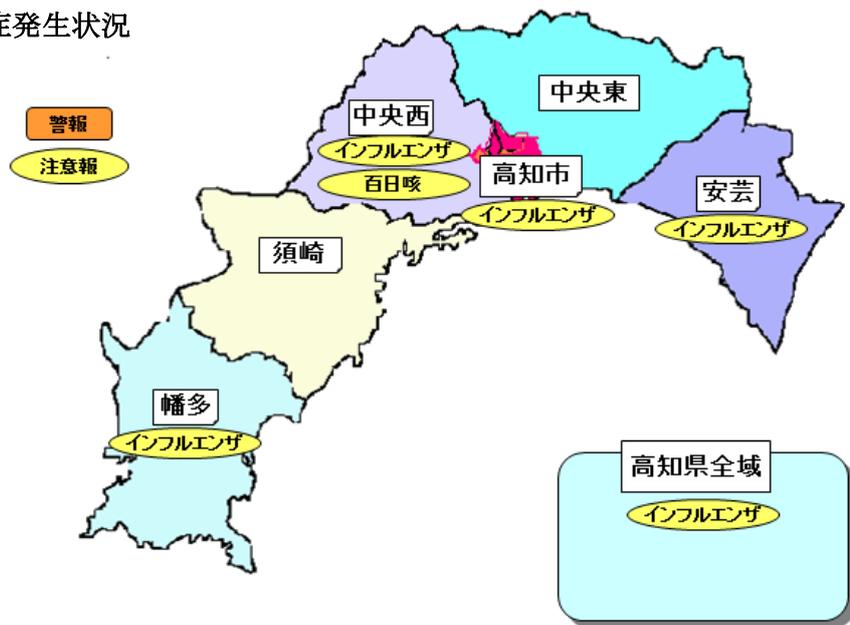
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減
2週（1月9日～1月15日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		14.25	高知市、幡多、安芸で増加し、県全域、高知市、幡多、中央西、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		7.23	高知市、幡多、中央東、中央西で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.50	高知市、中央西、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症		0.77	高知市、須崎で増加しています。
水痘		0.67	幡多で増加しています。

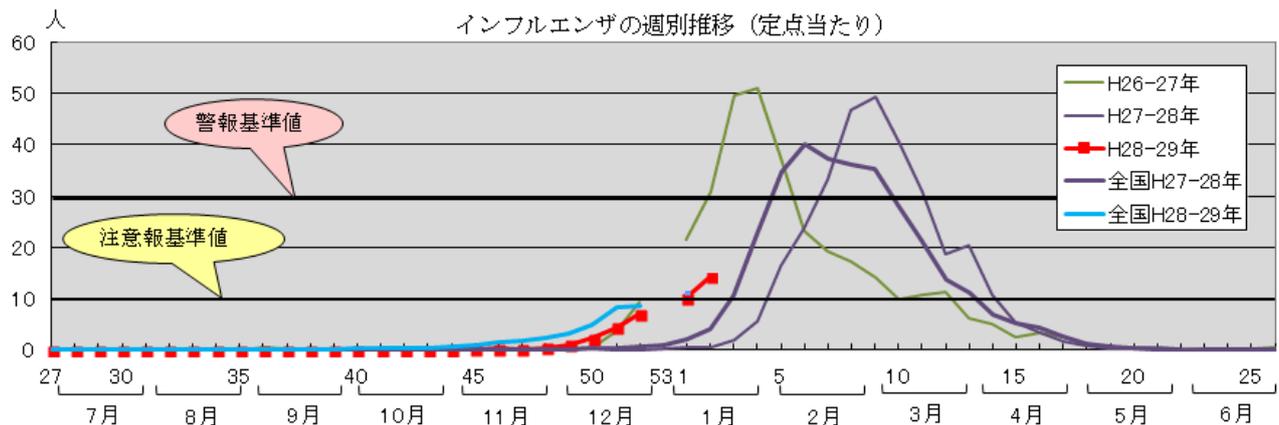
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

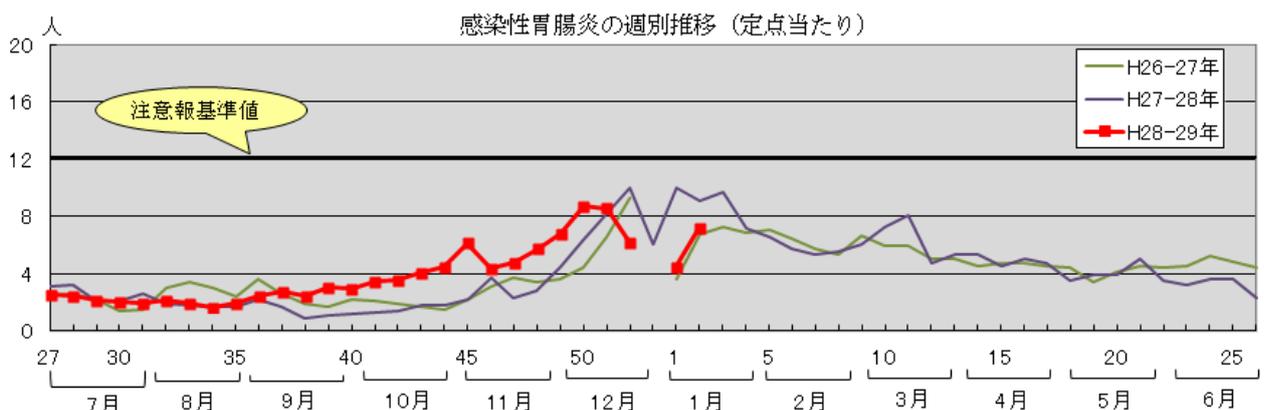
○インフルエンザ 第2週：14.25（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり14.25（前週10.21）と増加しています。高知市20.56（前週12.81）、幡多13.63（前週：7.00）、安芸12.00（前週：3.75）で増加し、県全域、高知市、幡多、中央西、安芸では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第2週：7.23（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり7.23（前週：4.47）と増加しています。高知市8.45（前週：3.82）、幡多7.80（前週：3.60）、中央東6.14（前週：3.29）、中央西6.00（前週：4.33）で増加しています。



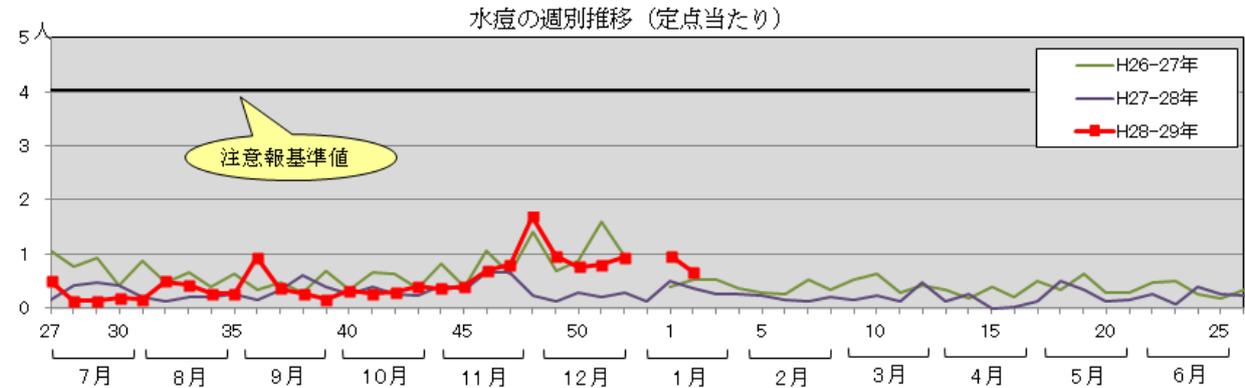
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第2週：1.50（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.50（前週：0.83）と増加しています。高知市2.36（前週：0.82）、中央西1.33（前週：0.33）、中央東1.00（前週：0.43）で増加しています。



○水痘 第2週：0.67（注意報値：4.00 警報値：7.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.67（前週：0.97）と減少していますが、幡多1.00（前週：0.20）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	インフルエンザ	2	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	インフルエンザ	26	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	百日咳	3ヶ月	女	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>
2	-	4	女	幡多	Respiratory syncytial virus B

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	1	90歳代男	高知市
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	80歳代男	高知市
	梅毒	1	2	50歳代男	高知市
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	80歳代女	中央東
	つつが虫病	1	1	70歳代女	中央東

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザ A 12 例
		マイコプラズマ感染症 1 例 (5 歳)
	野市中央病院小児科	1 月 10 日 (火) 4 歳女 : A 型インフルエンザ (ワクチン未)、11 歳男 : A 型インフルエンザ (ワクチン未)、14 歳女 : A 型インフルエンザ (ワクチン未)
		1 月 11 日 (水) マイコプラズマ肺炎 1 例 (8 歳女)
	1 月 13 日 (金) 7 歳男 : A 型インフルエンザ (ワクチン未)、13 歳男 : A 型インフルエンザ (ワクチン未)、14 歳男 : A 型インフルエンザ (ワクチン未)	
	早明浦病院小児科	A 型インフルエンザ 5 例 (9 ヶ月から 30 歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス感染症 1 例 (4 歳)
		マイコプラズマ肺炎 12 例 (1 歳、5 歳 3 人、7 歳 3 人、8 歳 3 人、10 歳、11 歳)
		百日咳 1 例 (62 歳女 PT-IgG160EU/ml 以上)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2 例 (4 ヶ月男、5 ヶ月男)
		A 群レンサ球菌 1 例 (5 歳男)
		ノロウイルス 1 例 (4 歳女)
		ヒトメタニューモウイルス 1 例 (1 歳男)
		インフルエンザウイルス 6 例 (11 ヶ月男、1 歳男、2 歳男、6 歳女、8 歳男女)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (4 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ (A 型) と溶連菌感染症合併 (4 歳女)
		インフルエンザ A 型 23 例、B 型 4 例、ワクチン接種済み 5 例
		溶連菌感染症 4 例
伝染性紅斑 1 例 (7 歳女)		
水痘 1 例 (7 歳女)		
細木病院小児科	ロタ 1 例 (1 歳女)	
	ノロ 1 例 (2 歳男)	
	サルモネラ 1 例 (7 歳女)	
中央西	石黒小児科	水痘ワクチン 1 回接種済み 3 例 (1 歳女、4 歳男、7 歳男)
		マイコプラズマ肺炎 1 例 (9 歳女)
	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (1 歳女)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 4 例 (1 歳男 2 人女、33 歳男)
マイコプラズマ肺炎 2 例 (6 歳男、8 歳女)		
須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎 (アデノ) 4 例 (1 歳、2 歳 2 人、5 歳)
		マイコプラズマ肺炎 2 例 (6 歳、7 歳) : 第 1 週
幡多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (10 歳女)
	さたけ小児科	ノロウイルス 2 例 (1 歳女、2 歳男)
		マイコプラズマ 2 例 (2 歳男、5 歳女)
		アデノウイルス 1 例 (1 歳男)
		インフルエンザ 25 例 全て A 型
幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 1 例 (3 ヶ月女)	

★全国情報

第 51 号 (12 月 19 日～12 月 25 日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核327例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症49例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎2例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病22例、デング熱3例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症23例

5類感染症：アメーバ赤痢17例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性脳炎8例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、後天性免疫不全症候群13例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性肺炎球菌感染症37例、水痘（入院例に限る）5例、梅毒58例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、麻しん5例

報告遅れ：腸チフス1例、E型肝炎3例、つつが虫病10例、デング熱2例、レジオネラ症11例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘（入院例に限る）7例、梅毒44例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例、麻しん1例

第 52 号 (12 月 26 日～1 月 1 日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核340例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症18例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎7例、A型肝炎2例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病13例、デング熱3例、日本紅斑熱2例、マラリア1例、レジオネラ症17例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例、急性脳炎8例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、後天性免疫不全症候群10例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症60例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒49例、播種性クリプトコックス症4例、破傷風2例、麻しん1例

報告遅れ：つつが虫病2例、レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒29例、播種性クリプトコックス症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第2週 平成29年1月9日(月)～平成29年1月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第2週					計	前週	全国(1週)	高知県(2週未累計) H29/1/2～H29/1/15	全国(1週未累計) H29/1/2～H29/1/8		
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎						幡多	
インフルエンザ	インフルエンザ		48	96	329	66	36	109	684 (14.25)	490 (10.21)	52,082 (10.58)	1,174 (24.46)	52,082 (10.58)	
小児科	咽頭結核熱			1	2			1	5 (0.17)	5 (0.17)	978 (0.31)	10 (0.33)	978 (0.31)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7	26	4	7	1	45 (1.50)	25 (0.83)	3,316 (1.06)	70 (2.33)	3,316 (1.06)	
	感染性胃腸炎		16	43	93	18	8	39	217 (7.23)	134 (4.47)	16,671 (5.31)	351 (11.70)	16,671 (5.31)	
	水痘			4	6	5		5	20 (0.67)	29 (0.97)	1,781 (0.57)	49 (1.63)	1,781 (0.57)	
	手足口病				3				3 (0.10)	1 (0.03)	515 (0.16)	4 (0.13)	515 (0.16)	
	伝染性紅斑			1	1				2 (0.07)	4 (0.13)	280 (0.09)	6 (0.20)	280 (0.09)	
	突発性発疹			4	4			1	10 (0.33)	7 (0.23)	820 (0.26)	17 (0.57)	820 (0.26)	
	百日咳				1	1			2 (0.07)	()	18 (0.01)	2 (0.07)	18 (0.01)	
	ヘルパンギーナ								()	()	80 (0.03)	()	80 (0.03)	
	流行性耳下腺炎				4	1	3	1	9 (0.30)	7 (0.23)	2,608 (0.83)	16 (0.53)	2,608 (0.83)	
RSウイルス感染症				1	13			1	8	23 (0.77)	24 (0.80)	1,399 (0.45)	47 (1.57)	1,399 (0.45)
眼科	急性出血性結核炎								()	()	5 (0.01)	()	5 (0.01)	
	流行性角結核炎								()	1 (0.33)	397 (0.58)	1 (0.33)	397 (0.58)	
基幹	細菌性髄膜炎				1				1 (0.13)	()	7 (0.01)	1 (0.13)	7 (0.01)	
	無菌性髄膜炎								()	()	16 (0.03)	()	16 (0.03)	
	マイコプラズマ肺炎				6				6 (0.75)	5 (0.63)	315 (0.67)	11 (1.38)	315 (0.67)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	3 (0.01)	()	3 (0.01)	
	感染性胃腸炎				1			1	2 (0.25)	()	23 (0.05)	2 (0.25)	23 (0.05)	
計 (小児科定点当たり人数)		64 (20.00)	157 (17.43)	490 (34.45)	95 (22.86)	57 (19.50)	166 (24.83)	1,029 (25.46)			81,314	1,761 (43.52)	81,314	
前週 (小児科定点当たり人数)		39 (15.75)	149 (16.06)	291 (20.17)	91 (20.86)	69 (23.25)	93 (14.40)		732 (18.07)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第2週					計	前週	全国(1週)	高知県(2週未累計) H29/1/2～H29/1/15	全国(1週未累計) H29/1/2～H29/1/8	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎						幡多
インフルエンザ	インフルエンザ		12.00	8.73	20.56	13.20	9.00	13.63	14.25	10.21	10.58	24.46	10.58
小児科	咽頭結核熱			0.14	0.18			0.50	0.20	0.17	0.31	0.33	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.00	2.36	1.33	3.50	0.20	1.50	0.83	1.06	2.33	1.06
	感染性胃腸炎		8.00	6.14	8.45	6.00	4.00	7.80	7.23	4.47	5.31	11.70	5.31
	水痘			0.57	0.55	1.67		1.00	0.67	0.97	0.57	1.63	0.57
	手足口病				0.27				0.10	0.03	0.16	0.13	0.16
	伝染性紅斑			0.14	0.09				0.07	0.13	0.09	0.20	0.09
	突発性発疹			0.57	0.36			0.50	0.20	0.33	0.26	0.57	0.26
	百日咳				0.09	0.33			0.07		0.01	0.07	0.01
	ヘルパンギーナ										0.03		0.03
	流行性耳下腺炎				0.36	0.33	1.50	0.20	0.30	0.23	0.83	0.53	0.83
RSウイルス感染症			0.14	1.18			0.50	1.60	0.77	0.80	0.45	1.57	0.45
眼科	急性出血性結核炎										0.01		0.01
	流行性角結核炎								0.33	0.58	0.33	0.58	
基幹	細菌性髄膜炎				0.20				0.13		0.01	0.13	0.01
	無菌性髄膜炎									0.03		0.03	
	マイコプラズマ肺炎				1.20				0.75	0.63	0.67	1.38	0.67
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01		0.01
	感染性胃腸炎				0.20			1.00	0.25		0.05	0.25	0.05
計 (小児科定点当たり人数)		20.00	17.43	34.45	22.86	19.50	24.83	25.46			43.52		
前週 (小児科定点当たり人数)		15.75	16.06	20.17	20.86	23.25	14.40		18.07				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869